

# 平成29年度 出前講座の概要



○ 「対象」の略称

幼…幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部、小…小学校・特別支援学校小学部

中…中学校・中等教育学校前期課程・特別支援学校中学部、高…高等学校・中等教育学校後期課程・特別支援学校高等部

## 1 学校運営

講座1 組織的教育力を高める学校運営		講義 60分				
学校の組織的教育力を高めるには、教職員間の学び合いや支え合い、協働する力が不可欠です。また、教職員一人一人が学校運営に参画し、学校改善を図る取組も必要です。講座では、組織的教育力を高め、学校運営に生かす学校組織マネジメントの具体的な方策について説明します。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	教職員の協働性を高める取組と管理職の役割					○
b	学校評価の活用と学校運営改善の視点					○
c	コーチングを生かした人材育成					○

○ 管理職を対象とした講座です。

講座2 <個と組織を伸ばす> 目標による管理を活用した組織マネジメント		講義・演習 60分～90分				
目標による管理を活用し、組織を活性化させ、教員個々の力を伸ばすための組織マネジメントについて研修します。教員が主体的に資質・能力を向上させるために有効なコミュニケーションや具体的な目標設定などについて講義と演習を実施します。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	目標管理によるマネジメントについて(講義)		○	○	○	○
b	具体的な目標設定と振り返り(演習)		○	○	○	○

講座3 ミドルリーダーのための学校組織マネジメント		講義 60分～90分				
管理職が描くビジョンを実現し、学校組織の様々な課題を解決する上で、ミドルリーダーが果たす役割が重要です。この講座では、教務主任や研修主任等、ミドルリーダーを対象に、学校組織マネジメントに関する基礎的な考え方について紹介し、学校のチーム力を向上させるための方策について説明します。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	教職員の協働性を高める取組とミドルリーダーの役割	○	○	○	○	○

○ 教務主任、研修主任、生徒指導主事、進路指導主事等を対象とした研修です。

講座4 「アクティブ・ラーニング」を推進する校内研修		講義・演習 60分～90分				
アクティブ・ラーニングを推進する校内研修のポイントや効果的な校内研修の企画と運営について考えます。また、アクティブ・ラーニングについて理解を深めるためのワークショップ型研修やOJTを進めるポイントも紹介します。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	学びの質の重要性と「アクティブ・ラーニング」の視点について	○	○	○	○	○
b	アクティブ・ラーニングを推進する校内研修のポイント	○	○	○	○	○
c	ワークショップ型研修とOJT	○	○	○	○	○

講座5 知っておくべき教職員の基礎知識 —コンプライアンス推進のために—		講義・演習 60分～90分				
教育公務員としての権利や義務、よく耳にするコンプライアンス、そしてこれから求められる教員像などについて、国と県の動向や具体的な法規、事例を基にして分かりやすく学んでいきます。社会人としての常識などを含め教職員として「知っていて当たり前のこと」を講義と演習で学ぶ講座です。服務事故が起きてからではなく、未然防止を目的とした研修です。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	今、教職員に求められていること 知っておくべき基礎知識(講義)	○	○	○	○	○
b	こんなときどうする～コンプライアンス推進のために～(講義・演習)	○	○	○	○	○

## 2 各教科等

講座6 教科の特性を生かした授業づくり —国語、社会、算数—		講義 90分～120分				
学習指導要領で示された目標や内容を踏まえた国語科、社会科、算数科の授業づくりについて考えます。国語科、社会科、算数科それぞれの教科の特性や授業の在り方について理解を深めることで、教科の関連をより意識することができます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	国語、算数、社会の授業づくり		○			○

講座7 確かな学びをつくる授業づくり —国語—		講義・演習 60分～100分				
学習指導要領で示された目標や内容を踏まえた国語科の授業づくりについて考えます。子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」を実現するためのよりよい指導の在り方について、講義や演習を通して理解を深めます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	思考力・判断力・表現力等を育む学習指導の工夫		○	○	○	○

○ 国立教育研究所作成の授業VTR（小学校での実践）を視聴いただくことも可能です。

講座8 伝統的な言語文化の授業づくり —国語—		講義 60分～90分				
学習指導要領で示された目標や内容を踏まえた国語科の授業づくりについて考えます。生涯にわたって古典に親しむ態度を育成するための、発達の段階を踏まえたよりよい指導の在り方について、理解を深めます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	伝統的な言語文化の学習活動の工夫		○	○	○	○

講座9 確かな学びをつくる授業づくり —社会、地理歴史・公民—		講義 60分～90分				
次期学習指導要領に示された内容なども踏まえながら、社会科、地理歴史・公民科における思考力・判断力・表現力等を育む授業の在り方について考えます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	思考力・判断力・表現力等を育む授業の工夫		○	○	○	○

講座10 社会科、地理歴史・公民科の学びの工夫		講義 60分～90分				
社会科、地理歴史・公民科の授業における地域素材を活用した学習の工夫や、教科用図書「地図」などの地図活用の基礎・基本などについての講義を通して授業の工夫について考えます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	地域素材を活用した学習の工夫		○	○	○	○
b	地図活用の基礎・基本		○	○	○	○

講座11 確かな学びをつくる授業づくり —算数、数学—		講義 60分～90分				
学習指導要領で示された目標や内容を踏まえた学習評価の在り方や、思考力・判断力・表現力等を育み、確かな学力の定着と向上を図るための授業改善の工夫や教科指導の在り方について考えます。講義には演習を含む場合もあります。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	確かな学力の定着と向上を図る授業の工夫		○	○	○	○

講座12 思考力・判断力・表現力を育む授業づくり —算数、数学—		講義 60分～90分				
思考力・判断力・表現力等を育み、言語活動の充実を図るための授業づくりの工夫について考えます。また、子どもの主体的・協働的な学びを目指した授業づくりについても研修します。講義には演習を含む場合もあります。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	数学的活動を充実させる授業づくりの工夫		○	○	○	○
b	思考力・判断力・表現力等を育む言語活動		○	○	○	○

講座13 確かな学びをつくる授業づくり —理科—		講義 60分～90分				
思考力・判断力・表現力等を育成するための授業の工夫や、実感を伴った理解を図るための指導法について、観察、実験を通して考えていきます。学習指導要領で示された目標や内容を踏まえた学習評価の在り方についても研修します。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	思考力・判断力・表現力等の育成を図る授業の工夫		○	○	○	○
b	実感を伴った理解を図るための観察、実験の進め方		○	○	○	○

○ 実験・実習については、原則として学校の実験器具や材料を使わせていただきますが、学校にないものは本センターから持参することも可能です。

講座14 生命倫理に配慮した実験計画		講義 60分				
動物を使って実験をする際には、動物の種類を考慮したり、できるだけ苦痛を与えない方法を検討したりすることが必要です。講義では、動物愛護法等に関する法令等に基づいた、中学校・高等学校での適切な動物実験についての研修を行います。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	動物実験に関する法規			○	○	○
b	生命倫理に配慮した実験について			○	○	○

講座15 薬品の適切な管理及び安全な理科実験の指導		講義 60分～90分				
薬品管理に関する法令等に基づいた、学校における適切な薬品管理の在り方についての研修を行います。また、理科実験における事故等を防止するために、安全管理についての知識を身に付け、指導力の向上も図ります。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	薬品の適切な管理		○	○	○	○
b	安全な理科実験の指導		○	○	○	○

講座16 生活科の授業づくり		講義・演習 60分～90分				
生活科の学習の基礎にあるのは児童理解です。児童一人一人の多様な学びや育ちを読み取り、よさを発揮できるような学習指導の進め方や評価の在り方について考えます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	気付きの質を高める学習指導の在り方		○			○
b	多様な学びを生み出す遊びの工夫		○			○
c	学習状況の評価の在り方		○			○

○ bについては、材料等の用意をお願いする場合があります。

講座17 幼児教育と小学校教育の連携・接続の在り方		講義・演習 60分～90分				
連携とは、「同じ目的を持つ者が互いに連絡を取り、協力し合って物事を行う」ことであり、子どもの豊かな成長を願う幼児教育と小学校教育が連携していくことは当然のことだと言えます。幼小連携の基本的な考え方やカリキュラム作成のポイントについて解説します。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	豊かな連携・接続の在り方	○	○			○
b	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの基本的な考え方	○	○			○

講座18 子どもの体力向上と体育授業の基礎・基本		講義 60分～90分				
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果を踏まえた、子どもの体力向上に向けた取組について解説します。体育授業の基礎・基本では、学習指導要領を踏まえた授業づくりのポイント、学習評価、授業中の事故防止等について、基礎的・基本的な内容から解説します。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	子どもの体力向上に向けた取組		○			○
b	体育授業の基礎・基本		○			○

講座19 子どもの体力向上と保健体育授業の基礎・基本		講義 60分～90分				
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果を踏まえた、子どもの体力向上に向けた取組について解説します。保健体育授業の基礎・基本では、学習指導要領を踏まえた授業づくりのポイント、学習評価、授業中の事故防止等について、基礎的・基本的な内容から解説します。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	子どもの体力向上に向けた取組			○	○	○
b	保健体育授業の基礎・基本			○	○	○

講座20 製作における基礎的・基本的な技能		説明・実習 120分				
ミシンを用いた製作実習を通して、基礎的・基本的な知識や技能について研修し、製作実習の指導力向上を目指します。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	ミシンを用いた生活に役立つ布製品の製作		○			○

○ 会場校等のミシンや裁縫道具、材料を使用させていただきます。

講座21 確かな学びをつくる授業づくり — 一家庭 —		講義・演習 60分～90分				
現行及び次期学習指導要領の趣旨を踏まえ、小・中・高等学校の体系化を図った学習指導や家庭科の見方・考え方を働かせた思考力・判断力・表現力等を育むための授業改善の在り方など、家庭、技術・家庭（家庭分野）の授業づくりについて考えます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	小・中・高等学校の体系化を図った学習指導		○	○	○	○
b	思考力・判断力・表現力等を育む教科指導の工夫		○	○	○	○

○ aやbと組み合わせて、授業研究（学習指導案作成、指導・助言等）を行うことも可能です。

講座22 コミュニケーション能力の素地を養う外国語活動		講義 60分～90分				
中・高等学校における外国語教育につながるコミュニケーション能力の素地を養う小学校外国語活動の授業づくりなどについて考えます。また、学習指導要領で示された目標や内容を踏まえた学習評価の具体策について考えます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	コミュニケーション能力の素地を養うための授業づくり		○			○
b	高学年における教科化を見据えた今後の方向性		○			○

講座23 4技能を総合的に育成する授業づくり ー外国語（英語）ー		講義 60分～90分				
各技能の統合的な指導を通して4技能を総合的に育成する授業改善の在り方など、外国語科の授業づくりについて考えます。また、学習指導要領で示された目標や内容を踏まえた学習評価の具体策について考えます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	言語活動を中心とした授業づくり			○	○	○

講座24 今、求められる道徳教育の具体的な展開		講義のみの場合 60分 演習を取り入れる場合 90～120分				
道徳教育を取り巻く現状を踏まえ、今、求められている道徳教育の在り方について共通理解を図ります。また、道徳科の指導力向上を目指し、改善・充実方策について具体的に考えていきます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	今、求められる道徳教育の在り方		○	○	○	○
b	道徳科の改善・充実方策		○	○	○	○

○ aやbと組み合わせて、授業研究（学習指導案作成、指導・助言等）を行うことも可能です。

講座25 総合的な学習の時間の進め方		講義・演習 60分				
学習指導要領で示された目標を読み解き、児童生徒に育てる力は何かを考えます。また、問題解決的な活動が発展的に繰り返される「探究的な学習」や、多様な考えを持つ他者と関わり合う「協同的な学習」を進めるための学習指導の在り方について研修します。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	探究的、協同的な学習を進めるための学習指導の在り方		○	○	○	○
b	全体計画・指導計画の工夫と改善		○	○	○	○

○ bについては、学校の全体計画・年間指導計画等の提出が必要です。

講座26 主体的・対話的で深い学びを目指す特別活動		講義・演習 60～90分				
特別活動の果たす役割や指導内容について理解を深めるとともに、学級活動、児童会・生徒会活動、学校行事等における主体的・対話的な話し合い活動を充実させる方法を学んでいきます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	主体的・対話的な話し合い活動の充実		○	○	○	○
b	児童会・生徒会活動及び学校行事の充実		○	○	○	○

### 3 保健室経営

講座27 養護教諭の資質向上		講義・演習 60分～90分				
養護教諭の職務（保健管理・保健教育・健康相談・保健室経営・保健組織活動）について、講義や演習を通して資質向上を図ります。講座の具体的内容については、申込者との相談により決定します。時代の変化に対応できる養護教諭を目指しましょう。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	養護教諭の資質向上（保健管理・保健教育・健康相談・保健室経営・保健組織活動）					○

○ 養護教諭を対象とした講座です。

### 4 幼児教育

講座28 幼児の人やものに関わる科学遊び		実習 90分～120分				
身近な材料を用いて、幼児が創意工夫しながら楽しめるものづくりや友達と関わりながら遊ぶことができる「科学遊び」を提案します。講座は実習を中心に行い、「科学遊び」を行う際の指導のポイントについて研修します。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	身近なものの性質や仕組みに興味や関心を持たせるための「科学遊び」	○				○
b	身近なものや道具に興味を持って関わり、考えたり、話したりして工夫するための「科学遊び」	○				○

○ 基本的に、実習に必要な材料等は本センターで準備しますが、ペットボトルなど身近な材料の準備をお願いする場合があります。

講座29 幼児期における運動遊び		講義・演習 60分～90分				
幼児期における運動遊びの重要性について、幼児の体力に関する実態を交えながらお話しします。また、運動遊びの内容や援助の仕方について、実際に体を動かしながら具体的に研修します。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	幼児期における運動遊びの理論	○	○			○
b	幼児期における運動遊びの実践	○	○			○

講座30 幼稚園における保護者対応		講義・演習 60分～90分				
保護者とよりよい関係を築くにはどのようなことに留意すればよいのか、演習を通して研修します。また、教育相談にいられた保護者へどのように対応すればよいのか、教育相談の技法を交えてお話しします。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	保護者への対応の留意点と実際	○				○

## 5 情報教育

講座31 情報モラル		講義 60分～90分				
インターネットやスマートフォン、携帯電話の現状や問題点について理解し、児童生徒をネット問題から守るために必要な知識を身に付けるための研修をします。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	ネット問題の現状把握と児童生徒への指導	○	○	○	○	○
b	学校における著作権	○	○	○	○	○

- Microsoft office PowerPointを使用します。
- プロジェクタとスクリーン又は中間モニタ等、講師のパソコンの画面を映し出す環境があることが望ましいです。

講座32 情報セキュリティ対策		講義 60分～90分				
最近の事件・事故例を知ることで情報セキュリティの重要性を理解し、情報セキュリティの検討方法や学校及び個人で行う対策等について研修をします。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	情報セキュリティの概要と事件・事故例	○	○	○	○	○
b	情報セキュリティの検討と対策	○	○	○	○	○

- Microsoft office PowerPointを使用します。
- プロジェクタとスクリーン又は中間モニタ等、講師のパソコンの画面を映し出す環境があることが望ましいです。

講座33 ESnet運用研修 (ホームページ)		運用研修の場合 90分～120分 新規開設の場合 1～2日間				
CMSを利用したホームページの特徴について理解し、CMSを利用した学校ホームページを構築する実習を行い、ホームページ作成の技術を研修します。また、日々の作業や運用のために必要な技術についても研修をします。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	CMSを利用した学校ホームページの構築		○	○	○	○
b	CMSを利用した学校ホームページの運用		○	○	○	○

- インターネットを使用します。
- Microsoft office Picture Manager又はフォトギャラリーを使用します。
- 実習を伴うので、受講者一人に対してコンピュータが1台あることが望ましいです。
- プロジェクタとスクリーン又は中間モニタ等、講師のパソコンの画面を映し出す環境があることが望ましいです。

講座34 ESnet運用研修 (グループウェア)		講義・実習 90分～120分				
NetCommonsを利用した学校グループウェアの基本操作（閲覧板、掲示板、行事予定、文書共有）について実習を行い、日々の作業や運用のために必要な技術について研修をします。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	グループウェアの基本操作に関する実習		○	○	○	○
b	グループウェアの運用方法に関する実習		○	○	○	○

- インターネットを使用します。
- 実習を伴うので、受講者一人に対してコンピュータが1台あることが望ましいです。
- プロジェクタとスクリーン又は中間モニタ等、講師のパソコンの画面を映し出せる環境での実施が望ましいです。



講座35 授業や校務におけるICT活用 (プレゼン、文書作成、表計算)		講義・実習 60分~120分				
授業や発表会において効果的なプレゼンテーションを行うために、スライドの作成方法や発表方法について研修します。授業や校務に必要な文書作成や表計算の効果的な活用方法を学び、ICT活用指導力や校務の情報化のためのスキル向上を図る研修をします。内容を絞った研修も可能です。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	プレゼンテーションの在り方とパワーポイントの活用実習	○	○	○	○	○
b	ワードの活用実習	○	○	○	○	○
c	エクセルの活用実習	○	○	○	○	○

- インターネットを使用します。
- Microsoft office PowerPoint (a)、Microsoft office Word (b)、Microsoft office Excel (c) を使用します。
- 実習を伴うので、受講者一人に対してコンピュータが1台あることが望ましいです。
- プロジェクタとスクリーン又は中間モニタ等、講師のパソコンの画面を映し出せる環境での実施が望ましいです。

講座36 ICTを活用した授業改善		講義・実習 90分~120分				
電子黒板やタブレット端末の活用方法について実習を交えながら学び、ICTを活用した授業改善について研修します。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	電子黒板の活用と授業改善		○	○	○	○
b	タブレット端末の活用と授業改善		○	○	○	○

- インターネットを使用します。
- Microsoft office PowerPointを使用します。
- 電子黒板を使用します (a)。
- 実習を希望する場合は、適当数の人数に1台のタブレット端末が使用できる環境が望ましいです (b)。
- プロジェクタとスクリーン又は中間モニタ等、講師のパソコンの画面を映し出せる環境での実施が望ましいです。

## 6 生徒指導・教育相談

講座37 いじめへの対応		講義・演習 60分~90分				
いじめ問題の現状やその対応について理解を深め、いじめの早期発見と、未然防止のための取組等を考えていきます。また、具体的な対応や、未然防止のための校内推進体制の充実等について考えていきます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	いじめの実態と具体的な対応		○	○	○	○

講座38 不登校への対応		講義 60分~90分				
不登校の現状を理解するとともに、状況や段階に応じた対応の在り方についてお話しします。児童生徒本人への具体的な支援のポイントや保護者への対応の留意点について説明していきます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	不登校児童生徒への支援の在り方		○	○	○	○
b	不登校児童生徒の保護者への対応の留意点		○	○	○	○

講座39 学校で行うアンガーマネジメント		講義・演習 60分～90分				
怒りの発生のメカニズムを理解し、怒りをコントロールする方法であるアンガーマネジメントについて研修します。怒りを上手にコントロールし、よりよい人間関係を築く方法について考えます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	教職員のためのアンガーマネジメント		○	○	○	○
b	児童生徒のためのアンガーマネジメント		○	○	○	○

講座40 学校で役立つ心理技法		講義・演習 60分～90分				
幼児児童生徒を理解したり、それに基づいて関わったりする場面で活用できる具体的な心理技法について研修します。個別の児童生徒等を対象とする場面や学級集団を対象とする場面など、学校での活用の場面に合わせて、お話しします。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	個別に活用できる心理技法	○	○	○	○	○
b	集団に活用できる心理技法	○	○	○	○	○

講座41 保護者等への対応の在り方		講義・演習 60分～90分				
子どもを育てるパートナーとしての保護者や地域との関わり方について講義を通して理解を深めます。また、保護者等への適切な対応と連携の在り方について演習を通じて理解を深めます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	保護者等の理解と連携	○	○	○	○	○
b	保護者等への対応	○	○	○	○	○

講座42 子どものメンタルヘルスの理解と対応		講義・演習 60分～90分				
子どもの心の発達を知り、子どもの抱えている心の健康問題について事例を交えながら考えていきます。また、子どもの心を理解したり支援したりする方法について、演習を通して学びます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	子どもの心の発達の理解と対応	○	○	○	○	○
b	子どものメンタルヘルスの実際	○	○	○	○	○

講座43 これだけはおさえない教育相談のポイント		講義・演習 60分～90分				
本センターで作成したプレゼンテーション資料、ハンドブック資料、事例研修資料の3種類の教育相談資料を活用して、教育相談に関する教職員の意識と能力の向上を図ります。また、校内・園内における教育相談に関する研修の進め方を提案し、教育相談に関する校内・園内研修の在り方についても考えます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	校内・園内研修における教育相談資料の活用の仕方	○	○	○	○	
b	教育相談に関する校内・園内研修の進め方					○

## 7 特別支援教育

講座44 学校における合理的配慮		講義のみの場合 60分～90分 演習を取り入れる場合 90分～120分				
「障害者の権利に関する条約」など関連する法令等や基礎的環境整備との関係、学校現場で提供する際のプロセスや留意点など、新しい概念である合理的配慮について研修します。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	合理的配慮に関連する法令や理念	○	○	○	○	○
b	合理的配慮の提供のプロセス	○	○	○	○	○

講座45 特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援		講義のみの場合 60分～90分 演習を取り入れる場合 90分～120分				
疑似体験等の活動を通して子どもの困難さや特性を理解し、つまずきに対応した具体的な支援の在り方や特別支援教育の観点を取り入れた学級経営、授業づくりについて研修します。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	子どもが感じている困難さや特性の理解	○	○	○	○	○
b	つまずきに対応した具体的な支援の在り方	○	○	○	○	○
c	特別支援教育の観点を取り入れた学級経営、授業づくり	○	○	○	○	○

講座46 子どもの実態把握と個別の指導計画の作成・活用		講義・演習 90分～120分				
子どもの実態把握の方法を学び、実態に基づいた個別の指導計画の作成と活用について研修します。個別の指導計画の作成演習を通して、作成の手順を学びます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	学習面における実態把握と個別の指導計画の作成、活用	○	○	○	○	○
b	行動面における実態把握と個別の指導計画の作成、活用	○	○	○	○	○
c	個別の指導計画の作成に関する演習	○	○	○	○	○

## 8 人権・同和教育

講座47 人権・同和教育の進め方		講義のみの場合 60分 演習を取り入れる場合 90分～120分				
「第三次とりまとめ」を基にして、人権・同和教育の指導の在り方を考え、人権・同和教育の進め方について理解を深める研修を行います。また、小・中学校の社会科教科書にある記述内容を踏まえた人権の歴史学習の進め方に関する研修や系統性を踏まえた同和問題学習の進め方についても研修を行います。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	「第三次とりまとめ」を基にした人権・同和教育	○	○	○	○	○
b	教科書記述に沿った同和問題学習		○	○	○	○
c	系統性を踏まえた同和問題学習		○	○	○	○

## 9 社会の変化に対応する教育

講座48 <b>キャリア教育の理解と取組</b>		講義・演習 60分～90分				
キャリア教育の目標や目的及び基本的な考え方について理解を深めます。また、キャリア教育の具体的な取組について学び、指導方法の工夫について考えていきます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	キャリア教育の基本的な理解		○	○	○	○
b	キャリア教育の取組		○	○	○	○

講座49 <b>主権者教育の進め方</b>		講義 60分				
主権者として求められる力の育成につながる主権者教育の指導の在り方を考え、今後の主権者教育の進め方について理解を深める研修を行います。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	主権者として求められる力の育成につながる主権者教育		○	○	○	

講座50 <b>防災教育 ー児童生徒の命を守るためにー</b>		講義 60分～120分				
防災に関する基礎知識と児童生徒の防災意識を高める取組への理解を深め、実践力を身に付ける講座です。また、今年度から要望に応じて避難所運営に関する演習等を実施し、平時の備えや災害発生時の対応について考えます。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	これからの防災教育の在り方	○	○	○	○	○
b	実践事例に学ぶ指導の工夫	○	○	○	○	○
c	避難所運営を想定した演習	○	○	○	○	○

○ 防災管理に関する内容は、取り扱っておりません。

講座51 <b>「アクティブ・ラーニング」の視点からの学びの改善</b>		講義・演習 60分～90分				
「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善が求められています。その視点を整理・共有し、多様で質の高い学びへと改善するための手立てについて、講義・演習を通して研修します。						
講座内容		対象				
		幼	小	中	高	研究委員会
a	「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善の工夫		○	○	○	○



